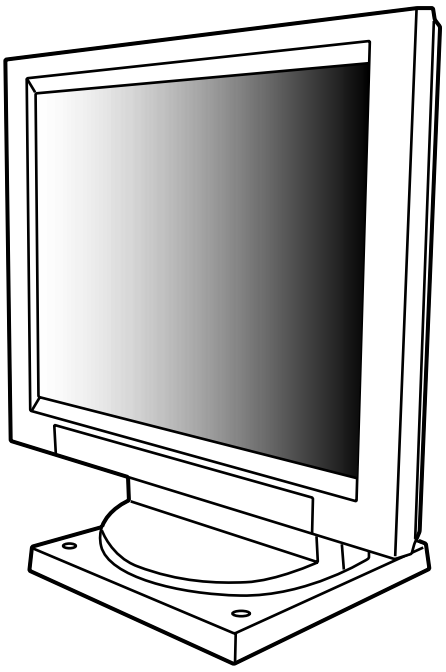
SHARP®

取扱説明書

液晶カラーモニター

形名 LL-T1502T



もくじ

		ページ
はじめに	安全にお使いいただくために	3
	付属品の確認	5
	各部の名前とはたらき	6
接　続 電源入・切	接続・電源入／切	8
	コンピュータの接続	8
	シリアル接続ケーブルの接続(タッチパネル用)	8
	電源の接続	8
	電源の入れかた	9
	電源の切りかた	9
タッチパネル	タッチパネルの使用準備	10
	タッチパネル用ドライバソフトのインストール	10
	タッチパネルの操作について	10
画面調整	画面調整について	11
	調整値のリセット	11
	調整ロック機能	11
	バックライトの明るさ調整	11
	画面調整	12
	画面の自動調整	12
	画面の手動調整	13
補　足	お手入れ・保管・アフターサービスについて	16
	お手入れのしかた	16
	保管にあたって	16
	故障かな？と思ったら	16
	アフターサービスについて	17
	お客様ご相談窓口のご案内	18
	仕様	19
	セットアップ情報とICCプロファイルについて(Windows)	21

この取扱説明書は、再生紙を使用しています。

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ご使用の前に、「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。
この取扱説明書は、保証書とともに、いつでも見ることができる所に必ず保存してください。

※本モニターに使用している TFT カラー液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に常時点灯する微細な点や点灯しない画素が存在する場合があります。また、見る角度によっては、色のムラや明るさのムラが生じる場合がありますが、いずれも液晶モニターの動作に影響を与える故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
※長時間静止画を表示しないでください。残像や焼き付けの原因になることがあります。
※輝度調整を最小にすると、見えにくいことがあります。
※コンピュータ信号の質が表示品位に影響を与えることがあります。高品位の映像信号を出力できるコンピュータの使用をおすすめします。
※本機は、日本国内用です。海外では使えません。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

正しい取り扱いをしても、電波の状況によりラジオやテレビジョン受信機の受信に影響を及ぼすことがあります。そのようなときは、次の点にご注意ください。
※この製品をラジオ、テレビジョン受信機から十分に離してください。
※この製品とラジオ、テレビジョン受信機を別のコンセントに接続してください。
なお、くわしくは、お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口にご相談ください。

本書の表記について
※本書では、Microsoft Windows XP Home Edition と Microsoft Windows XP Professional を「WindowsXP」、Microsoft Windows Millennium Edition を「WindowsMe」、Microsoft Windows 2000 を「Windows2000」、Microsoft Windows 98 を「Windows98」、Microsoft Windows 95 を「Windows95」と表記します。また、これらを区別する必要のない場合は、総称して「Windows」と表記しています。
※ Microsoft、Windows は、米国マイクロソフト社の米国、およびその他の国における登録商標です。
※そのほか、本書で記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。

お願い
※この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口までご連絡ください。
※お客様または第三者がこの製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
※この製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。
※付属品の形状が本書に記載の内容と多少異なることがあります。

安全にお使いいただくために

絵表示について　この取扱説明書には、安全にお使いいただくためのいろいろな絵表示をしています。その表示を無視して、誤った取り扱いをすることによって生じる内容を次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ **警告**　人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しています。

⚠ **注意**　人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示しています。

絵表示の意味　（絵表示の一例です。）

⚠ 記号は、**気を付ける**必要があることを表しています。

🚫 記号は、**してはいけない**ことを表しています。

❗ 記号は、**しなければならない**ことを表しています。

⚠ 警 告

電源コードを傷つけたり、重い物を載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりしないでください。また、加工しないでください。電源コードを傷め、火災や感電の原因になります。

雷が鳴り始めたら、落雷による火災や感電を防ぐために、モニターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

発熱したり、煙りが出たり、変なにおいがするなどの異常な状態で使用を続けると、火災や感電の原因になります。異常が起きたら、すぐにモニターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買いあげの販売店にご連絡ください。

風通しの悪い場所、ほこりや湿気の多い場所、油煙や湯気の当たる場所では使用しないでください。火災の原因になります。

水などの液体がかからないようにしてください。また、クリップやピンなどの異物が機械の中に入らないようにしてください。
火災や感電の原因になります。

⚠ 注 意

ACアダプターおよび電源コードは、必ず付属のものを使用してください。付属以外のものを使用すると、火災の原因になることがあります。

ACアダプターの取り扱いにあたっては、次のことをお守りください。取り扱いを誤ると、火災や感電、けがの原因になることがあります。

- ●落下させたり、衝撃を与えないでください。
- ●絶対に分解しないでください。内部には高圧部分があり、触ると危険です。
- ●ACアダプターは屋内専用です。屋外では使用しないでください。

電源は、AC100V(50/60Hz)のコンセントを使用してください。指定以外の電源を使用すると、火災の原因になることがあります。

電源プラグは、コンセントに直接差し込んでください。タコ足配線をすると、過熱により火災の原因になることがあります。

⚠ 注 意

火災や感電を防ぐために、次のことをお守りください。

- ●電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
- ●夜間、旅行などで長時間使用しないときは、モニターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ●電源プラグや電源コードが熱いとき、またコンセントへの差し込みがゆるく電源プラグがぐらついているときは、使用をやめて、お買いあげの販売店にご相談ください。

ぐらつく台の上や、不安定な場所に置かないでください。また、強い衝撃や振動を与えないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。

直射日光の当たる場所や暖房器具の近くなど、高温になる場所で使用しないでください。発熱や発火の原因になることがあります。

硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。破損してけがの原因になることがあります。

あお向け、横倒し、逆さまにして使用しないでください。熱がこもり、発熱や発火の原因になることがあります。

改造や分解はしないでください。また、お客様による修理はしないでください。火災や感電、けがの原因になることがあります。

⚠ 注 意

健康のために、次のことをお守りください。

- ●連続して使用する場合は、1時間ごとに10分から15分の休憩を取り、目を休ませてください。
- ●明暗の差が大きい所では使用しないでください。
- ●日光が画面に直接当たる所では使用しないでください。

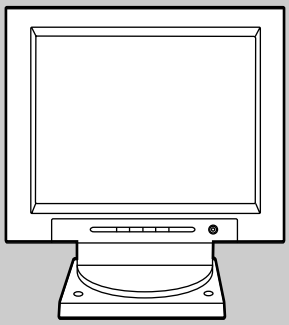
移動するときは、電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続ケーブルを外してください。コードやケーブルが引っ掛かり、落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。

年に一度を目安にモニター内部を清掃してください。(もよりのお客様ご相談窓口にご相談ください。)
内部にほこりがたまると、発熱や発火の原因になることがあります。

付属品の確認

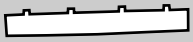
付属品を確かめてください。
万一、不足のものがありましたら、お買いあげの販売店にご連絡ください。

モニター本体（1台）

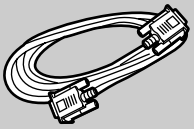


アナログ信号ケーブル接続済み

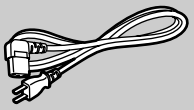
操作ボタンカバー（1個）



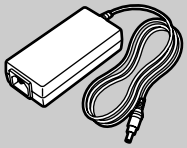
シリアル接続ケーブル（1本）



電源コード（1本）

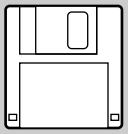


ACアダプター（1個）



スタンドへ収納済み

アプリケーションディスク（1枚）



ユーティリティ/
タッチパネル用ドライバ

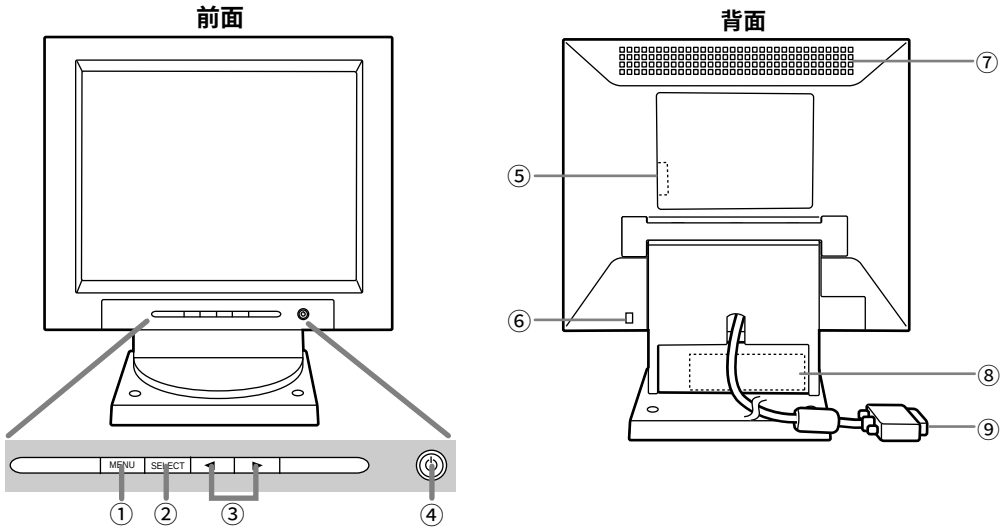
取扱説明書（1部）

(本書)

保証書（1部）

※梱包箱は、輸送などに備えて保管しておいてください。
※アプリケーションディスク内のユーティリティプログラムの著作権は、シャープ(株)が保有しています。許可なく複製しないでください。
※タッチパネル用ドライバは、タッチパネル・システムズ社開発のマウスエミュレーションソフトウェアです。タッチパネル用ドライバの著作権は、タッチパネル・システムズ社、米国 Elo Touchsystems 社に帰属します。

各部の名前とはたらき



① MENU ボタン
調整メニューの表示、切り替え、消去を行います。

② SELECT ボタン
調整メニューが表示されているとき、調整項目の選択に使います。

③ ◀▶ ボタン
調整メニューが表示されているときは、調整項目の選択や調整値の増減に使います。調整メニューが表示されていないときは、バックライトの明るさを調整します。

④電源ボタン(ランプ)
ボタンを押して、電源の入 / 切を行います。通常表示時はボタンの周囲が緑色に、パワーセーブ時はオレンジ色に点灯します。

⑤シリアルコネクタ(タッチパネル用)
付属のシリアル接続ケーブルで、コンピュータのシリアルコネクタと接続します。

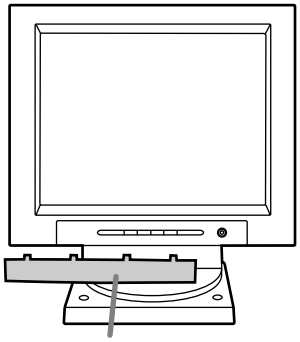
⑥盗難防止ホール（ ）
市販の盗難防止ロックを接続すると、本体を持ち運べないように固定することができます。
盗難防止ホールは、Kensington 社製マイクロセーバーセキュリティシステムに対応しています。

⑦通風孔
※通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、故障の原因になります。

⑧ AC アダプター
スタンドの中に AC アダプターが収納されています。

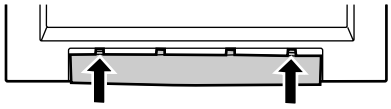
⑨アナログ信号ケーブル
コンピュータのアナログ RGB 出力端子に接続します。

■操作ボタンカバーについて



操作ボタンカバー(付属)

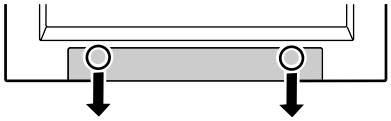
誤操作防止のために、操作ボタン部分にカバーを取り付けることができます。



※操作ボタンをよく使われる場合は、カバーを外してお使いください。

カバーの外しかた

カバーは、非常に固くて外れにくくなっています。下図の○印付近を強く押さえながら、下げてください。

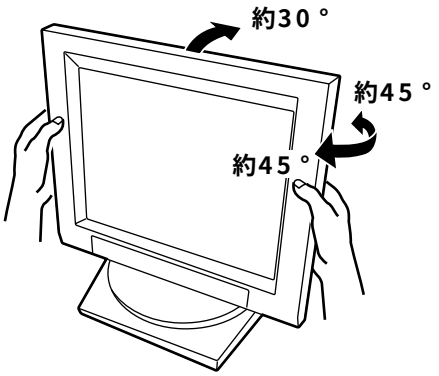


■角度調整

見やすい角度に調整します。

！ご注意

※ディスプレイ部を動かすときは、必ず枠の部分を持ってください。液晶パネルに手を当てて力を加えると、破損の原因になります。



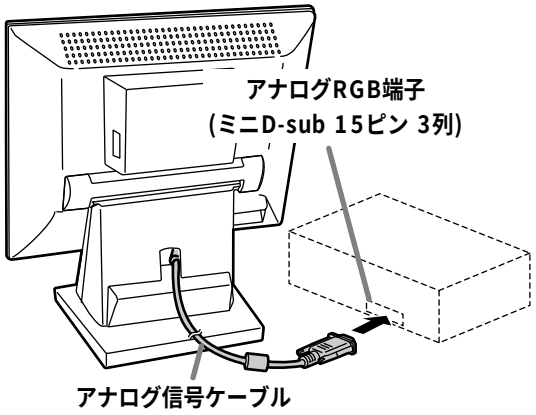
接続・電源入／切

！ご注意

※接続は、モニターおよびコンピュータの電源を切った状態で行ってください。

※ケーブルを無理に曲げたり、ケーブルに力が加わらないようにしてください。断線などの原因になります。

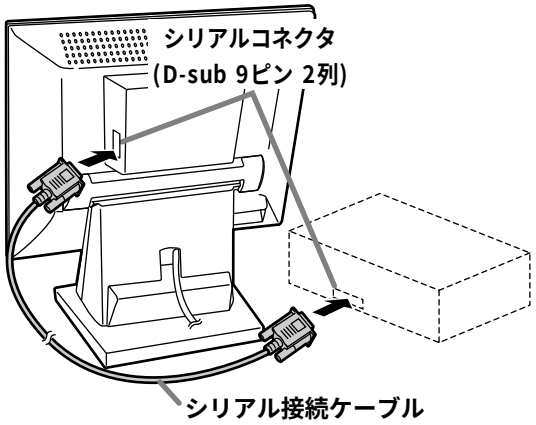
コンピュータの接続



※コネクタの向きを確かめて奥まで差し込んだあと、両側のネジで固定します。

シリアル接続ケーブルの接続(タッチパネル用)

タッチパネルを使用する場合は、付属のシリアル接続ケーブルでコンピュータのシリアルコネクタ(D-sub 9 ピン　2 列)と接続します。



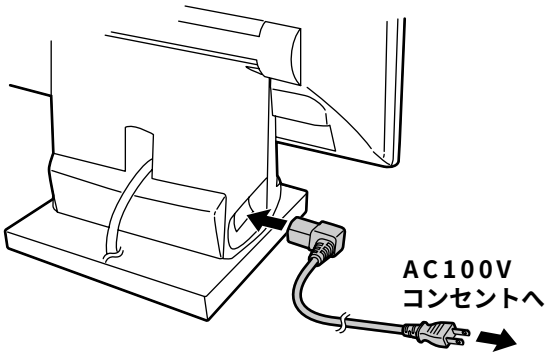
※コネクタの向きを確かめて奥まで差し込んだあと、両側のネジで固定します。

電源の接続

！ご注意

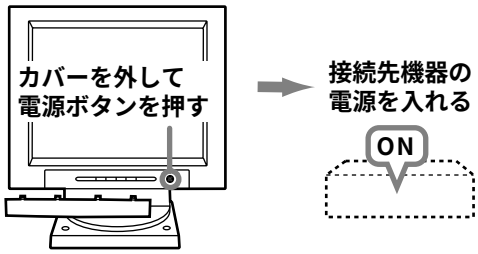
※ AC アダプター(スタンドに収納済み)、および電源コードは、必ず付属のものを使用してください。

1. 付属の電源コードを AC アダプターに差し込む。
2. 電源プラグを AC100V コンセントに差し込む。



電源の入れかた

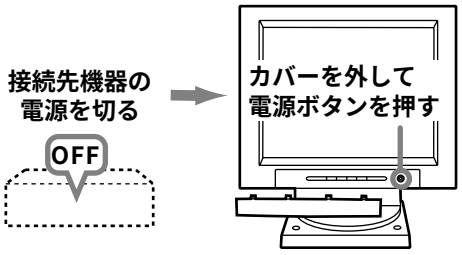
1. モニターの電源ボタンを押す。
2. コンピュータの電源を入れる。
電源ランプが緑色に点灯し、画面が表示されます。(電源を入れたあと、画面が表示されるまでに少し時間がかかることがあります。)



※本機を初めて使用するときや、使用中のシステムの設定を変更したときは、画面の自動調整(12 ページ)を行ってください。
※ノートパソコンと接続して、ノートパソコン画面と同時表示するように設定されていると、MS-DOS 画面が正しく表示できないことがあります。その場合は、本機でのみの表示となるように設定してください。

電源の切りかた

1. コンピュータの電源を切る。
2. モニターの電源ボタンを押す。
電源ランプが消灯します。



長時間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いてください。

? Memo

※電源ボタンで電源を切っても、電源コードを抜くか、コンピュータの電源を切るまでは、タッチパネルの動作は継続します。

タッチパネルの使用準備

タッチパネル用ドライバソフトのインストール

対応 OS：Windows95/98/2000/Me/XP

1. 使用中のすべてのアプリケーションを終了する。
2. 付属のアプリケーションディスクをコンピュータのフロッピーディスクドライブにセットする。
3. 「マイコンピュータ」の「3.5 インチ FD(A:)」を開く。
4. ご使用の OS に合ったドライバソフトを選ぶ(ダブルクリック)。
   Windows95/98/Me 用：mm9xv3
   Windows2000/XP 用： mm2kxp
5. 解凍先フォルダを選び、「OK」をクリックする。
6. 以降、画面に表示される「このファイルを必ずお読みください。」(解凍先フォルダ内の readme)に従って、インストールを行う。
   動作環境や制限事項等も併せてご確認ください。

アンインストール

1. 使用中のすべてのアプリケーションを終了する。
2. 「スタート」-(「設定」-)「コントロールパネル」を選ぶ。
3. 「アプリケーションの追加と削除」で、Windows95/98/Me の場合は「Elo MonitorMouse for Windows 95/98」、Windows2000/XP の場合は「MonitorMouse for Windows 2000」を選んで削除する。

タッチパネルの操作について

タッチパネル上は、指先で操作してください。

? Memo

※指以外の柔らかいものが触れても入力されることがあります。
※接触面積が大きい場合(手のひらで押す等)、正しく入力できないことがあります。
※爪、ペン、鉛筆等の硬いものでは入力できません。
※コンピュータがシステムスタンバイ状態のときは、タッチパネルを押しても復帰できません。復帰には、マウスやキーボードをご使用ください。
※ EXPAND(画面拡大)を切り替えると、位置指定がずれることがあります。その場合は、再度、位置指定を行ってください。

画面調整について

1. 初めに自動調整をする。(12 ページ)
2. 必要に応じて手動調整をする。(13 ページ)

? Memo

※調整内容は、電源を切っても保持されます。(ただし、調整メニューの表示中に電源を切った場合は、保持されないことがあります。)

調整値のリセット

■ ADJUSTMENT メニューのリセット

調整メニュー中の ADJUSTMENT メニューの調整値を、工場出荷時の状態に戻すことができます。

1. 本機の電源を入れる。
2.MENU ボタンと ◀ ボタンの両方を押す。
画面に「RESET」と表示されて、リセットが完了します。

■調整値のオールリセット

すべての調整値を、工場出荷時の状態に戻すことができます。

1. 本機の電源を切る。
2. MENU ボタンと SELECT ボタンの両方を押しながら、電源ボタンを押す(電源を入れる)。
画面に「ALL RESET」と表示されるまで押し続けてください。
「ALL RESET END」が表示されたら、リセットが完了します。
3. リセット完了後、いったん電源を切る。

? Memo

※「ALL RESET」の表示中は、操作ボタンは効きません。
※調整ロックが設定されている場合、オールリセットはできません。調整ロックを解除してから操作してください。

調整ロック機能

操作ボタンを効かなくして(ロック設定)、調整後の内容の変更を防ぐことができます。

1. 本機の電源を切る。
2. MENU ボタンを押しながら、電源ボタンを押す(電源を入れる)。
画面に「ADJUSTMENT LOCKED」と表示されるまでボタンを押し続けてください。
「ADJUSTMENT LOCKED」と表示されたら、ロック設定が完了します。

ロック設定の解除

1. 本機の電源を切る。
2. MENU ボタンを押しながら、電源ボタンを押す(電源を入れる)。
画面に「ADJUSTMENT UNLOCKED」と表示されるまで、ボタンを押し続けてください。
「ADJUSTMENT UNLOCKED」と表示されたら、ロックが解除されます。

? Memo

※ロック設定をすると、電源ボタン以外のボタンは効かなくなります。

バックライトの明るさ調整

調整メニューが表示されていない状態で操作します。調整メニューが表示されている場合は、MENU ボタンを押して(場合によっては数回)、調整メニューを消してから操作してください。

1.調整メニューが表示されていない状態で、◀ または ▶ ボタンを押す。

2. ◀ ボタン(暗くする)、▶ ボタン(明るくする)を押して調整する。
調整用の表示は、最後のボタン操作から数秒後に自動的に消えます。

画面調整

画面の自動調整

ADJUSTMENT メニューの CLOCK(クロック)、PHASE(位相)、H-POS(水平位置)、V-POS(垂直位置)を自動的に調整します。

? Memo

※本機を初めて使用するときや、使用中のシステムの設定を変更したときは、ご使用の前に自動調整を行ってください。

■自動調整のための画面表示について

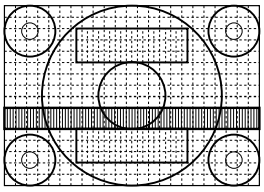
付属のアプリケーションディスクの調整用パターンを利用して、画面の自動調整を行います。
調整用パターンを利用しない場合は、画面全体が明るくなるような画像を用意してください。

調整用パターンの呼び出しかた

フロッピーディスクドライブを「A ドライブ」として説明します。

1. 付属のアプリケーションディスクをコンピュータの A ドライブにセットする。
2. 「マイコンピュータ」の「3.5 インチ FD(A:)」を開く。
3. 「Adj_uty.exe」をダブルクリックして、調整用プログラムを起動する。
調整用パターンが表示されます。

<調整用パターン>



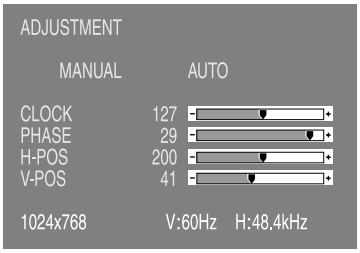
調整終了後は、コンピュータの[ESC]キーを押して、調整用プログラムを終了してください。

? Memo

※使用するコンピュータの表示モードが 6 万 5 千色の場合、カラーパターンの各色の階調が異なって見えたり、グレースケールが色付きに見えることがあります。(入力信号の仕様によるもので、故障ではありません。)

■自動調整のしかた

1. MENU ボタンを押す。
ADJUSTMENT メニューが表示されます。



2. ▶ ボタンを押して「AUTO」を選択する。
画面が黒くなり、「ADJUSTING」と表示され、数秒後に ADJUSTMENT メニューに戻ります。
(これで自動調整は完了です。)
3. MENU ボタンを 4 回押して、調整メニューを消す。

? Memo

※通常は、自動調整だけでご使用いただけます。
※自動調整後、次のような場合は必要に応じて手動調整(13 ページ)を行ってください。
- さらに微調整が必要なとき
- コンピュータからの信号がコンポジット・シンクやシンク・オン・グリーンのときなど(自動調整では、正しく調整できないことがあります。)
- 「OUT OF ADJUST」と表示されたとき(画面全体が極端に暗い場合など、表示中の内容によっては自動調整ができないことがあります。再度、自動調整をする場合は、調整用パターンを利用するか、画面全体が明るくなるような画像に変えてみてください。)

画面の手動調整

用意されている調整メニューを利用して、画面の調整をします。

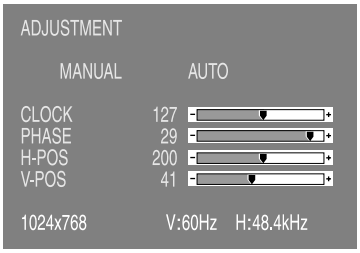
■調整のための画面表示について

付属のアプリケーションディスクから調整用パターンを呼び出してください。(12 ページ)
調整用パターンを利用しない場合は、画面全体が明るくなるような画像を用意してください。
※本書では、調整用パターンを利用した調整のしかたを基本に説明します。

■手動調整のしかた

1.MENU ボタンを押す。

ADJUSTMENT メニューが表示されます。

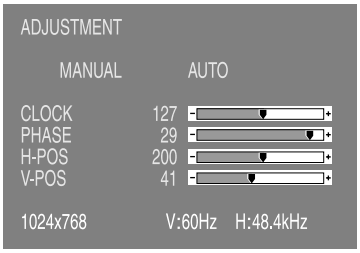


以降、必要な項目を調整します。
MENU ボタンを押すごとに、次のメニューに切り替わります。(ADJUSTMENT → GAIN CONTROL → WHITE BALANCE → MODE SELECT →メニュー表示消)

? Memo

※調整メニューは、最後のボタン操作から約 30 秒後に自動的に消えます。

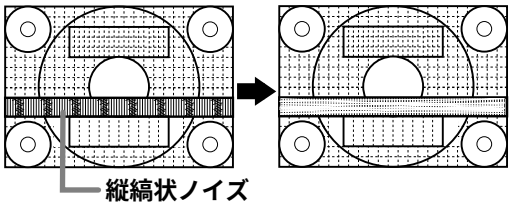
ADJUSTMENT メニュー



MANUAL .... 必要な項目を手動で調整します。
AUTO ..... 各項目を自動的に調整します。
※ ▶ ボタンを押すと、「AUTO」の選択になります。
※項目の選択　　：SELECT ボタン
※次のメニューへ：MENU ボタン

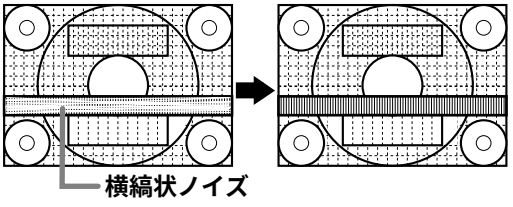
CLOCK(クロック)

下図の部分に縦縞状のノイズが出ないように調整します。(◀ ▶ ボタン)



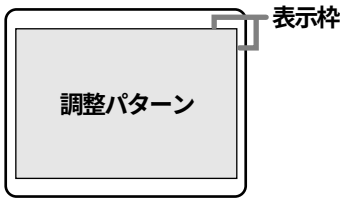
PHASE(位相)

下図の部分に横縞状のノイズが出ないように調整します。(◀ ▶ ボタン)
※「PHASE」の調整は、必ず「CLOCK」を正しく調整したあとで行ってください。

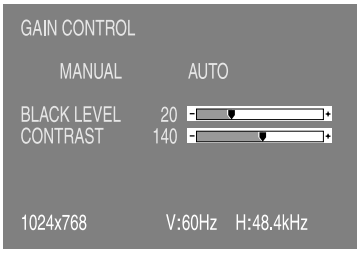


H-POS(水平位置)、V-POS(垂直位置)

調整パターンの全体が画面内に表示されるように、左右(H-POS)、上下(V-POS)の位置を調整します。
(◀ ▶ ボタン)



GAIN CONTROL メニュー



MANUAL .... 必要な項目を手動で調整します。
AUTO ..... オートゲインコントロール機能 * で、「BLACK LEVEL」「CONTRAST」を自動調整します。自動調整後、必要に応じて手動調整してください。

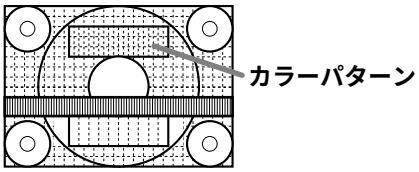
※ ▶ ボタンを押すと、「AUTO」の選択になります。
※項目の選択　　：SELECT ボタン
※次のメニューへ：MENU ボタン

*** オートゲインコントロール機能**

・画面に表示中の最も明るい色と最も暗い色を基準に、黒レベル、コントラストが調整されます。調整パターンを利用しないときは、5mm × 5mm 以上の白色と黒色が表示されている必要があり、表示がない場合は正しく調整できないことがあります。
・コンピュータからの信号がコンポジット・シンクやシンク・オン・グリーンのときは、自動調整ができないことがあります。その場合は、手動で調整してください。

BLACK LEVEL(黒レベル)

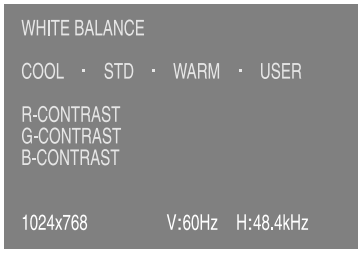
カラーパターンを見ながら、画面全体の明るさを調整します。(◀ ▶ ボタン)



CONTRAST(コントラスト)

カラーパターンを見ながら、すべての階調が表示されるように調整します。(◀ ▶ ボタン)

WHITE BALANCE メニュー



※「STD」以外では、すべての階調を表示することはできません。すべての階調を表示したいときは、「STD」に設定してください。
※ ◀▶ ボタンで「COOL」「・」「STD」「・」「WARM」「USER」を選びます。
※「USER」を選ぶと、「R-CONTRAST」、「G-CONTRAST」、「B-CONTRAST」の設定値が表示され、微調整ができます。
※ SELECT ボタンで「R-CONTRAST」「G-CONTRAST」「B-CONTRAST」を選びます。
※次のメニューへ：MENU ボタン

COOL ..... 標準設定よりも青みがかった色合い
- ..... 標準設定よりもやや青みがかった色合い

STD ..... 標準設定
- ..... 標準設定よりもやや赤みがかった色合い

WARM ... 標準設定よりも赤みがかった色合い

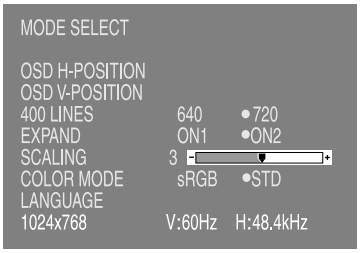
USER

R-CONTRAST ...◀ ボタンで青緑色、
▶ ボタンで赤色

G-CONTRAST ...◀ ボタンで紫色、
▶ ボタンで緑色

B-CONTRAST ...◀ ボタンで黄色、
▶ ボタンで青色

MODE SELECT メニュー



※入力信号の解像度によっては、項目の選択ができても、表示状態が変わらないことがあります。
※項目の選択　：SELECT ボタン
※調整終了　：MENU ボタン

OSD H-POSITION(OSD 画面水平位置)
調整メニューの表示位置を左右に動かします。
(◀ ▶ ボタン)

OSD V-POSITION(OSD 画面垂直位置)
調整メニューの表示位置を上下に動かします。
(◀ ▶ ボタン)

400 LINES(解像度)
PC9800 シリーズや US TEXT 等の 400 ライン画面の水平解像度を設定します。(◀ ▶ ボタン)
640..... 640 × 400 ドットモード
(PC9800 シリーズなど)
720..... 720 × 400 ドットモード
(US TEXT など)
※ 400 ライン以外の解像度の入力に対しては自動検出が行われますので、設定の必要はありません。

EXPAND（画面拡大）
1024 × 768 ドット未満の表示モードの内容に対して、拡大表示の選択をします。(◀ ▶ ボタン)
ON1 ... ほぼアスペクト比(縦横比)固定で拡大する
ON2 ... 画面全体に拡大する
※拡大しても 1024 × 768 ドットにならない解像度の場合、画面の周囲が黒く表示されます。（故障ではありません。）

SCALING(拡大補正レベル)
拡大表示時の画像のシャープさを調整することができます。（◀ ▶ ボタン）

COLOR MODE(カラーモード)
表示の色合いを設定することができます。（◀ ▶ ボタン）
STD..... 液晶モニター本来の色合いを活かした表示になります。
sRGB .. IEC(International Electrotechnical Commission)が規定した色再現性の国際規格です。液晶の特性を考慮した色変換が行われ、原画像に基づいた色合いでの表示になります。
※「COLOR MODE」を「sRGB」にする場合は、「WHITE BALANCE」を「STD」に設定してください。

LANGUAGE
調整メニューの言語を変更することができます。
1）▶ ボタンを押す。
言語選択メニュー(LANGUAGE)が表示されます。
2）SELECT ボタンで言語を選択する。
3）MENU ボタン、または ▶ ボタンを押す。
言語選択メニューが消えます。

お手入れ・保管・アフターサービスについて

お手入れのしかた

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

■キャビネットや操作パネル部分

キャビネットや操作パネル部分の汚れは、乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。
汚れがひどいときは、柔らかい布を水で薄めた中性洗剤に浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ってください。

■タッチパネル部分

タッチパネルの表面の汚れやホコリは、乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。（レンズクリーナーやガーゼなどの柔らかい布でもかまいません。）

！ ご注意

※キャビネットや操作パネル部分の清掃時は、シンナー、ベンジン、アルコール、ガラスクリーナー等を絶対に使用しないでください。変色や変形の原因になります。
※硬いものでこすったり、強い力を加えないでください。傷が付いたり、故障の原因になります。

？ Memo

※本機で使用している蛍光管には水銀が含まれています。本機を廃棄するときは、地方自治体の条例・規則に従ってください。詳しくは各地方自治体にお問い合わせください。

保管にあたって

長時間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

！ ご注意

※ゴム製品やビニール製品などと長時間接触させないでください。変色や変形の原因になります。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、修理を依頼される前に次の点をご確認ください。それでも正常に動かないときは、お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口にご連絡ください。

本機で使用している蛍光管には寿命があります。

※画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、寿命です。お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口にお問い合わせください。
※ご使用初期において、蛍光管の特性上、画面がチラつくことがあります(故障ではありません)。
その場合は、いったん電源を切り、電源を入れ直してご確認ください。

画面に何も表示されない(電源ランプ消灯)

※電源コードが正しく接続されていますか。(8 ページ)

画面に何も表示されない(電源ランプ点灯)

※コンピュータと正しく接続されていますか。(8 ページ)
※コンピュータの電源が入っていますか。
※コンピュータの信号タイミングが本機の仕様に合っていますか。(20 ページ)
※コンピュータの省電力機能が動作していませんか。

画面が乱れている

※コンピュータの信号タイミングが本機の仕様に合っていますか。(20 ページ)
※画面自動調整を行ってください。(12 ページ)
※お使いのコンピュータで垂直周波数が変更できる場合は、低い周波数に変えてみてください。

操作ボタンが効かない

※調整ロックが設定されていませんか。(11 ページ)

操作ボタンを押しても目的の画面調整に移れない

※画面調整の途中の場合、そのまま別の調整に移ることはできません(いったん調整中の表示が消えます)。
もう一度、同じボタンを押してみてください。

タッチパネルで入力できない

※シリアル接続ケーブルが正しく接続されていますか。(8 ページ)

※ドライバソフトがインストールされていますか。(10 ページ)

※接触面積が大きい場合(手のひらで押す等)、正しく入力できないことがあります。

※爪、ペン、鉛筆等の硬いものでは入力できません。

※水滴が付着していませんか。乾いた柔らかい布で、水滴を拭き取ってください。

アフターサービスについて

■製品の保証について

この製品には保証書がついています。保証書は、販売窓口にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。

保証期間はお買いあげの日から１年間です(ただし、光源の蛍光管は消耗品ですので、保証の対象になりません)。保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

保証期間後の修理は、お買いあげの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

■補修用性能部品について

当社は、この液晶モニターの補修用性能部品を製造打切後、7 年間保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品のことです。

■修理を依頼されるときは

先に「故障かな?と思ったら」をお読みのうえ、もう一度お調べください。

それでも異常があるときは、使用をやめて、電源コードをコンセントから抜き、お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口にこの製品を**「お持ち込み」**のうえ、修理をお申し付けください。

ご自分での修理はしないでください。たいへん危険です。

アフターサービスについてわからないことは、お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

お客様ご相談窓口のご案内(次ページ)

お客様ご相談窓口のご案内

シャープ製品の修理・お取り扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、お買いあげの販売店もしくは下記のご相談窓口へご連絡ください。
※電話番号、所在地などは変わることがありますので、その節はご容赦願います。(2003年11月現在)

修理ご相談窓口

シャープドキュメントシステム株式会社

＜受付時間＞　月曜日～土曜日：午前9時～午後5時40分（日曜日、祝日など弊社休日は休ませていただきます。）

北海道
札幌技術センター　(011)641-0751
〒063-0801　札幌市西区二十四軒1条7-3-17
釧路　(0154)24-8191
〒085-0051　釧路市光陽町8-13
函館　(0138)52-5190
〒040-0001　函館市五稜郭町31-17
帯広　(0155)21-2881
〒080-0011　帯広市西1条南26-19-1
旭川技術センター　(0166)22-8284
〒070-0031　旭川市一条通4-左10

青森
青森技術センター　(017)738-7778
〒030-0121　青森市妙見3-3-4
八戸　(0178)45-2631
〒031-0802　八戸市小中野2-8-16

岩手
岩手技術センター　(019)638-6085
〒020-0891　紫波郡矢巾町流通センター南3-1-1

秋田
秋田技術センター　(018)865-1258
〒010-0941　秋田市川尻町字大川反170-56

宮城
仙台技術センター　(022)288-9161
〒984-0002　仙台市若林区卸町東3-1-27

福島
福島技術センター　(024)946-0196
〒963-0111　郡山市安積町荒井字方八丁33-1
いわき　(0246)28-2487
〒970-8033　いわき市自由ケ丘37-10

新潟
新潟技術センター　(025)284-6023
〒950-0993　新潟市上所中1-7-21
長岡　(0258)23-1850
〒940-1104　長岡市摂田屋町字崩2600

栃木
宇都宮技術センター　(028)634-0256
〒320-0833　宇都宮市不動前4-2-41

群馬
前橋技術センター　(027)252-7311
〒371-0855　前橋市問屋町1-3-7

茨城
水戸技術センター　(029)243-0909
〒310-0851　水戸市千波町1963

埼玉
埼玉技術センター　(048)666-7148
〒330-0038　さいたま市宮原町2-107-2
埼玉東技術センター　(048)979-6459
〒343-0804　越谷市大字南萩島346-1

千葉
千葉技術センター　(043)299-8855
〒261-8520　千葉市美浜区中瀬1-9-2
西千葉技術センター　(047)368-8346
〒270-2231　松戸市稔台295-1

東京
東京フィールドサポートセンター
第1技術センター　(03)3260-5253
〒162-8408　東京都新宿区市谷八幡町8
第2技術センター　(03)3624-7476
〒130-8610　東京都墨田区石原2-12-3
第3技術センター　(03)3973-7789
〒174-0074　東京都板橋区東新町1-33-11
西東京技術センター　(042)583-1993
〒191-0003　日野市日野台5-5-4

山梨
山梨　(055)228-3833
〒400-0049　甲府市富竹2-1-17

神奈川
横浜技術センター　(045)753-9540
〒235-0036　横浜市磯子区中原1-2-23
相模原技術センター　(045)753-9540
〒229-1122　相模原市横山2-2-12
湘南技術センター　(045)753-9540
〒254-0013　平塚市田村1381

長野
松本技術センター　(0263)27-1636
〒399-0002　松本市芳野8-14
長野技術センター　(026)293-6360
〒388-8014　長野市篠ノ井塩崎東田沢6877-1

富山
富山技術センター　(076)451-3933
〒930-0997　富山市新庄北町5-63

石川
金沢技術センター　(076)249-9033
〒921-8801　石川郡野々市町御経塚4-103

福井
福井　(0776)53-6050
〒918-8206　福井市北四ツ居町625

岐阜
岐阜技術センター　(058)274-7996
〒500-8358　岐阜市六条南3-12-9

静岡
静岡技術センター　(0543)44-5621
〒424-0067　静岡市清水島坂1170-1
沼津　(0559)24-1028
〒410-0062　沼津市宮前町11-4
浜松技術センター　(053)465-0735
〒430-0803　浜松市植松町1476-2

愛知
名古屋技術センター　(052)332-2758
〒454-0011　名古屋市中川区山王3-5-5
豊橋技術センター　(0532)54-1830
〒440-0086　豊橋市下地町橋口17-1
岡崎　(0564)25-0611
〒444-0065　岡崎市柿田町1-21

三重
三重技術センター　(059) 231-1573
〒514-0102　津市栗真町屋町字蒲池328

京都
京都技術センター　(075)681-9551
〒601-8102　京都市南区上鳥羽菅田町48
北近畿　(0773)23-6996
〒620-0054　福知山市末広町6-13

滋賀
滋賀技術センター　(077)543-2331
〒520-2151　大津市栗林町11-35

大阪
大阪フィールドサポートセンター
カスタマシステム技術部　(06)6796-5430
〒547-8510　大阪市平野区加美南3-7-19
堺技術センター　(072)245-5855
〒590-0824　堺市老松町1-39
北大阪技術センター　(072)634-4683
〒567-0831　茨木市鮎川5-15-3

兵庫
神戸技術センター　(078)452-1762
〒658-0082　神戸市東灘区魚崎北町1-6-18
阪神技術センター　(06)6421-2304
〒661-0981　尼崎市猪名寺3-2-10
姫路技術センター　(0792)66-8295
〒671-2222　姫路市青山5-7-7

奈良
奈良技術センター　(0743)53-2023
〒639-1103　大和郡山市美濃庄町492

和歌山
和歌山技術センター　(073) 445-6298
〒641-0031　和歌山市西小二里2-4-91

島根
松江技術センター　(0852)21-6110
〒690-0017　松江市西津田3-1-10

鳥取
鳥取　(0857)28-4222
〒680-0942　鳥取市湖山町東4-27-1

岡山
岡山技術センター　(086)292-5830
〒701-0301　都窪郡早島町大字矢尾828

広島
広島技術センター　(082)874-6100
〒731-0113　広島市安佐南区西原2-13-4
東広島　(0824)28-3065
〒739-0142　東広島市八本松東4-3-30
福山技術センター　(084)952-0736
〒720-0841　福山市津之郷町大字津之郷272-1

山口
山口技術センター　(083)972-4525
〒754-0024　吉敷郡小郡町若草町4-12

香川
高松技術センター　(087)823-4980
〒760-0065　高松市朝日町6-2-8

徳島
徳島　(088)625-8840
〒770-0813　徳島市中常三島町3-11-14

高知
高知　(088)883-7039
〒781-8104　高知市高須1-14-43

愛媛
松山技術センター　(089)973-0121
〒791-8036　松山市高岡町178-1

福岡
福岡技術センター　(092)572-2617
〒816-0081　福岡市博多区井相田2-12-1
南福岡　(0942)45-4551
〒839-0812　久留米市山川安居野3-12-47
北九州技術センター　(093)592-6510
〒803-0814　北九州市小倉北区大手町6-12

大分
大分技術センター　(097)552-2164
〒870-0913　大分市松原町3-5-3

長崎
長崎技術センター　(0957)53-3858
〒856-0817　大村市古賀島町613-3

熊本
熊本技術センター　(096)372-1251
〒862-0975　熊本市新屋敷3-15-17

鹿児島
鹿児島技術センター　(099)259-0628
〒890-0064　鹿児島市鴨池新町12-1

宮崎
宮崎　(0985)28-8371
〒880-0007　宮崎市原町4-12

沖縄シャープ電機株式会社

＜受付時間＞　月曜日～金曜日：午前9時～午後5時40分（土・日曜日、祝日など弊社休日は休ませていただきます。）

沖縄
沖縄シャープ電機(株)　(098)861-0866
〒900-0002　那覇市曙2-10-1

シャープ製品に対するご意見・ご要望やお問い合わせは、下記ご相談窓口へ

お客様相談センター（一般ご相談窓口）

シャープ株式会社

＜受付時間＞※月曜日～土曜日：午前9時～午後6時　※日曜日・祝日：午前10時～午後5時 (年末年始を除く)

東日本相談室　電話 (043)299-8021　FAX 043-299-8280　〒261-8520 千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2

西日本相談室　電話 (06)6794-8021　FAX 06-6792-5993　〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3-1-72

仕　様

■製品仕様

液晶表示素子
15 型(対角 38cm)
アドバンスト・スーパー V 液晶

最大解像度
XGA 1,024 × 768

最大表示色
約 1,677 万色(8 ビット)

最大輝度
190cd/m²

画素ピッチ
水平 0.297mm ×垂直 0.297mm

コントラスト比
350：1

視野角
左右 170 ° / 上下 170 °

表示画面サイズ
横 304.1mm ×縦 228.1mm

入力映像信号
アナログ RGB(0.7Vp-p)[75 Ω]

入力同期信号
水平 / 垂直セパレート(TTL：正 / 負)、シンク・オン・グリーン、コンポジットシンク(TTL：正 / 負)

拡大補正
デジタルスケーリング(VGA/SVGA 等を補正して拡大表示)　[アスペクト比固定、全画面]

プラグ＆プレイ
VESA　DDC1/DDC2B 対応

パワーマネージメント
VESA　DPMS 準拠

入力端子
ミニ D-sub15 ピン(3 列)

画面角度調整
チルト：上向きに 0 ～約 30 °
スイーベル：左右に合わせて約 90 °

タッチパネル方式
超音波表面弾性波方式

タッチパネル透過率
89%

タッチパネル PC 接続端子
シリアルコネクタ　D-sub9 ピン(2 列)

電源
AC100V　50/60Hz　(専用 AC アダプター使用)

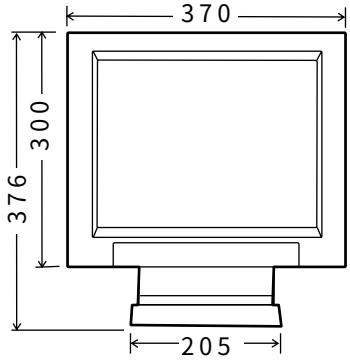
使用温度条件
5 ～ 35℃　(結露なきこと)

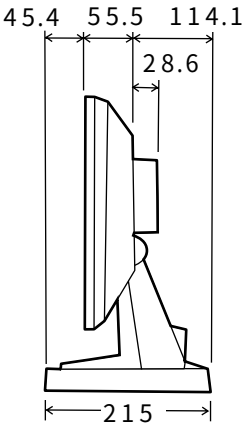
消費電力
最大 28W(待機時 4.5W)(専用 AC アダプター使用)

外形寸法
幅 370mm ×奥行 215mm ×高さ 376mm

質量
約 6.1kg （AC アダプター、アナログ信号ケーブル含む）

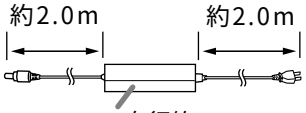
■外形寸法図 (単位 mm)





アナログ信号ケーブル長 ：約2.0m※
※アナログ信号入力端子からの長さ

専用ACアダプターと電源コード：



幅約125mm×奥行約60mm×高さ約33mm

シリアル接続ケーブル：約2.0m

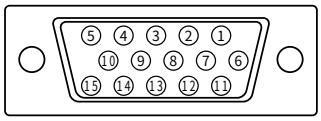
■対応信号タイミング

表示モード		水平周波数	垂直周波数	ドット周波数
VESA ・IBM AT 互換機	640×480	31.5kHz	60Hz	25.175MHz
		37.9kHz	72Hz	31.5MHz
		37.5kHz	75Hz	31.5MHz
	800×600	35.1kHz	56Hz	36.0MHz
		37.9kHz	60Hz	40.0MHz
		48.1kHz	72Hz	50.0MHz
		46.9kHz	75Hz	49.5MHz
	1024×768	48.4kHz	60Hz	65.0MHz
		56.5kHz	70Hz	75.0MHz
		60.0kHz	75Hz	78.75MHz
US TEXT	720×400	31.5kHz	70Hz	28.3MHz

※推奨解像度は、1024 × 768 です。
※すべてノンインターレースのみの対応です。
※本機で対応していない信号タイミングが入力された場合、「OUT OF TIMING」と表示されます。その場合は、ご使用のコンピュータの取扱説明書にもとづき、本機で対応している信号タイミングに設定してください。
※本機に何も信号(同期信号)が入力されない場合、「NO SIGNAL」と表示されます。

■アナログ信号入力端子のピン配列

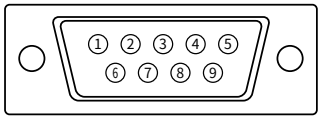
(ミニD-sub 15ピン)



番号	機　能	番号	機　能
1	赤映像信号入力	9	DDC/VCC
2	緑映像信号入力	10	GND
3	青映像信号入力	11	N.C.
4	N.C.	12	DDCデータ
5	GND	13	水平同期信号用入力
6	赤映像信号用GND	14	垂直同期信号用入力
7	緑映像信号用GND	15	DDCクロック
8	青映像信号用GND		

■シリアルコネクタのピン配列

(D-sub 9ピン)



番号	機　能	番号	機　能
1	キャリア出力	6	データセット出力
2	送信データ出力	7	送信要求入力
3	受信データ入力	8	送信可能出力
4	データ端末レディ入力	9	未使用
5	GND		

■パワーマネージメント

本機は、VESA DPMS、Energy Starに準拠しています。
本機のパワーマネージメント機能を動作するためには、ビデオカードやコンピュータも同規格に適合している必要があります。

DPMS (Display Power Management Signaling)

DPMSモード	画面	消費電力	水平同期	垂直同期
ON STATE	表示	28W	あり	あり
STANDBY	無表示	4.5W	なし	あり
SUSPEND			あり	なし
OFF STATE			なし	なし

Energy Star

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。
『国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク(ロゴ)は参加各国の間で統一されています。』

■ DDC(プラグ＆プレイ)

本機は、VESA の DDC(Display Data Channel)規格をサポートしています。
DDC とは、モニターとパソコンのプラグ＆プレイを行うための信号規格です。モニターとパソコンの間で解像度などに関する情報を受け渡しします。この機能は、パソコンが DDC に対応しており、プラグ＆プレイモニターを検出する設定になっている場合に使用できます。
DDC には、通信方式の違いによりいくつかの種類があります。本機は、DDC1 と DDC2B に対応しています。

セットアップ情報とICCプロファイルについて(Windows)

ご使用のコンピュータやＯＳによっては、コンピュータ側で本機のセットアップ情報の格納等の操作が必要になることがあります。その場合は、下記の手順でセットアップ情報の格納を行ってください。（ご使用のコンピュータやOSによっては、名称・操作方法が異なることがあります。コンピュータの取扱説明書と併せてお読みください。）

ICCプロファイルとは…

ICC(International Color Consortium)プロファイルは、液晶モニターの色再現特性を記述したファイルです。ICCプロファイルに対応したアプリケーションにおいて、表示色と印刷色の再現性を高めます。

※ICCプロファイルは、Windows98/2000/Me/XPに対応しています。

※Windows98/2000/Me/XPでセットアップ情報の格納を行うと、ICCプロファイルも格納されます。ICCプロファイルだけを格納したいときは、23ページの「ICCプロファイルの格納」をご覧ください。

※ICCプロファイルを使用する場合は、「WHITE BALANCE」を「STD」に、「COLOR MODE」を「STD」に設定してください。

■セットアップ情報の格納

Windows95の場合

Windows95に本機のセットアップ情報を格納します。

フロッピーディスクドライブを「Aドライブ」として説明します。

1. 付属のアプリケーションディスクをコンピュータのAドライブにセットする。
2. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」から「コントロールパネル」を選ぶ。
3. 「画面」をダブルクリックする。
4. 「ディスプレイの詳細」、「詳細プロパティ」、「モニター」、「変更」の順にクリックする。
   デバイスの選択画面が表示されます。
5. 「ディスク使用」をクリックし、「配布ファイルのコピー元」が「A:\」であることを確認して「OK」をクリックする。
6. 「すべてのハードウェアを表示」をチェックし、表示された一覧から本機を選び、「OK」をクリックする。
7. 本機が表示されていることを確認して、「更新」をクリックする。
8. 「OK」をクリックして、ウィンドウを閉じる。

Windows98の場合

Windows98に本機のセットアップ情報を格納し、本機のICCプロファイルを既定値として設定します。

フロッピーディスクドライブを「Aドライブ」として説明します。

【新しいハードウェアの追加ウィザードが表示された場合】

1. 付属のアプリケーションディスクをコンピュータのAドライブにセットする。
2. 「次へ」をクリックする。
3. 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」をチェックし、「次へ」をクリックする。
4. 「モデル」が表示されたら「ディスク使用」をクリックし、「配布ファイルのコピー元」が「A:\」であることを確認して「OK」をクリックする。
5. 「すべてのハードウェアを表示」をチェックし、表示された一覧から本機を選び、「次へ」、「次へ」、「完了」の順にクリックする。
   新しいハードウェアの追加ウィザードが表示された場合は、もう一度2.から操作してください。

【新しいハードウェアの追加ウィザードが表示されなかった場合】

1. 付属のアプリケーションディスクをコンピュータのAドライブにセットする。
2. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」から「コントロールパネル」を選ぶ。
3. 「画面」をダブルクリックする。
4. 「設定」、「詳細」、「モニタ」の順にクリックする。
5. 「オプション」内の「プラグ アンド プレイ モニタを自動的に検出する」をチェックし、「変更」をクリックする。
6. 「次へ」をクリックする。
7. 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」をチェックし、「次へ」をクリックする。
8. 「モデル」が表示されたら「ディスク使用」をクリックし、「配布ファイルのコピー元」が「A:\」であることを確認して「OK」をクリックする。
9. 「すべてのハードウェアを表示」をチェックし、表示された一覧から本機を選び、「次へ」、「次へ」、「完了」の順にクリックする。
10. 本機が表示されていることを確認し、「適用」をクリックする。
11. 「OK」をクリックして、ウィンドウを閉じる。

Windows2000の場合

Windows2000に本機のセットアップ情報を格納し、本機のICCプロファイルを既定値として設定します。フロッピーディスクドライブを「Aドライブ」として説明します。

1. 付属のアプリケーションディスクをコンピュータのAドライブにセットする。
2. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」から「コントロールパネル」を選ぶ。
3. 「画面」をダブルクリックする。
4. 「設定」、「詳細」、「モニタ」の順にクリックする。
5. 「プロパティ」、「ドライバ」、「ドライバの更新」の順にクリックする。
6. 「デバイスドライバのアップグレードウィザードの開始」が表示されたら「次へ」をクリックする。
7. 「このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する」をチェックし、「次へ」をクリックする。
8. 「モデル」が表示されたら「ディスク使用」をクリックし、「製造元のファイルのコピー元」が「A:\」であることを確認して「OK」をクリックする。
9. 「すべてのハードウェアを表示」をチェックし、表示された一覧から本機を選び、「次へ」をクリックする。
10. 「次へ」をクリックし、モニタ名に本機が表示されていることを確認し、「完了」をクリックする。
    「デジタル署名が見つかりませんでした」と表示された場合は「はい」をクリックしてください。
11. 「閉じる」をクリックして、「画面のプロパティ」を閉じる。
12. 「OK」をクリックして、ウィンドウを閉じる。

WindowsMeの場合

WindowsMeに本機のセットアップ情報を格納し、本機のICCプロファイルを既定値として設定します。フロッピーディスクドライブを「Aドライブ」として説明します。

【新しいハードウェアの追加ウィザードが表示された場合】

1. 付属のアプリケーションディスクをコンピュータのAドライブにセットする。
2. 「ドライバの場所を指定する」をチェックし、「次へ」をクリックする。
3. 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を表示し、インストールするドライバを選択する」をチェックし、「次へ」をクリックする。
4. 「モデル」が表示されたら「ディスク使用」をクリックし、「製造元ファイルのコピー元」が「A:\」であることを確認して「OK」をクリックする。
5. 「すべてのハードウェアを表示」をチェックし、表示された一覧から本機を選び、「次へ」、「次へ」、「完了」の順にクリックする。
   新しいハードウェアの追加ウィザードが表示された場合は、もう一度2.から操作してください。

【新しいハードウェアの追加ウィザードが表示されなかった場合】

1. 付属のアプリケーションディスクをコンピュータのAドライブにセットする。
2. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」から「コントロールパネル」を選ぶ。
3. 「画面」をダブルクリックする。
4. 「設定」、「詳細」、「モニタ」の順にクリックする。
5. 「オプション」内の「プラグ アンド プレイ モニタを自動的に検出する」をチェックし、「変更」をクリックする。
6. 「ドライバの場所を指定する」をチェックし、「次へ」をクリックする。
7. 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を表示し、インストールするドライバを選択する」をチェックし、「次へ」をクリックする。
8. 「モデル」が表示されたら「ディスク使用」をクリックし、「製造元ファイルのコピー元」が「A:\」であることを確認して「OK」をクリックする。
9. 「すべてのハードウェアを表示」をチェックし、表示された一覧から本機を選び、「次へ」、「次へ」、「完了」の順にクリックする。
10. 本機が表示されていることを確認し、「適用」をクリックする。
11. 「OK」をクリックして、ウィンドウを閉じる。

WindowsXPの場合

WindowsXPに本機のセットアップ情報を格納し、本機のICCプロファイルを既定値として設定します。
フロッピーディスクドライブを「Aドライブ」として説明します。

1. 付属のアプリケーションディスクをコンピュータのAドライブにセットする。
2. 「スタート」ボタンをクリックし、「コントロールパネル」を選ぶ。
3. クラシック表示にする。
4. 「画面」をダブルクリックする。
5. 「設定」、「詳細設定」、「モニタ」の順にクリックする。
6. 「プロパティ」、「ドライバ」、「ドライバの更新」の順にクリックする。
7. ハードウェアの更新ウィザードが表示されたら、「一覧または特定場所からインストールする」をチェックし、「次へ」をクリックする。
8. 「検索しないで、インストールするドライバを選択する」をチェックし、「次へ」をクリックする。
9. 「ディスク使用」をクリックし、「製造元のファイルのコピー元」を「A:\」にして「OK」をクリックする。
10. 表示された一覧から本機を選び、「次へ」をクリックする。
    「Windowsロゴテストに合格していません…」と表示された場合は、「続行」をクリックしてください。
11. 本機が表示されていることを確認し、「完了」をクリックする。
12. 「閉じる」をクリックして、「画面のプロパティ」を閉じる。
13. 「OK」をクリックして、ウィンドウを閉じる。

■ICCプロファイルの格納

本機のICCプロファイルを格納します。(セットアップ情報の格納を行った場合は、プロファイルの格納も行われていますので、この操作は不要です。)
フロッピーディスクドライブを「Aドライブ」として説明します。

1. 付属のアプリケーションディスクをコンピュータのAドライブにセットする。
2. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」から「コントロールパネル」を選ぶ。
3. 「画面」をダブルクリックする。
4. 「設定」、「詳細」の順にクリックする。
5. 「全般」をクリックし、「互換性」内の「再起動しないで新しい色の設定を適用する」を選び、「色の管理」をクリックする。
6. 「追加」をクリックし、ファイルの場所を「3.5インチFD(A:)」にする。
7. インストールしたい「カラープロファイル」を選び、「追加」をクリックする。
8. プロファイルを選び、「既定値として設定」をクリックする。
9. 「OK」をクリックしてウィンドウを閉じる。

※ICCプロファイルを使用する場合は、「WHITE BALANCE」を「STD」に、「COLOR MODE」を「STD」に設定してください。

●製品についてのお問い合わせは‥			
お客様相談センター	東日本相談室 西日本相談室	TEL **043-299-8021** TEL **06-6794-8021**	FAX **043-299-8280** FAX **06-6792-5993**
《受付時間》　月曜～土曜：午前9時～午後6時　日曜・祝日：午前10時～午後5時　(年末年始を除く)			

●修理のご相談は‥	18ページ記載の『**ご相談窓口のご案内**』をご参照ください。
●シャープホームページ	http://www.sharp.co.jp/crisia/

(2004年3月現在)

シャープ株式会社

本　　社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号
情報通信事業本部　〒639-1186　奈良県大和郡山市美濃庄町492番地

04C　　DSC8
(TINSJ1040MPZZ)⑧